

## 線形代数 IA (2024 年度) 演習問題 1

問題 1.1. 直交座標で以下のように与えられる点を, 極座標で表せ.

$$(1) \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix} \quad (2) \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \sqrt{3} \\ -1 \end{bmatrix}$$

問題 1.2. 以下の点の座標 (直交座標) を求めよ.

(1) 点  $\begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix}$  を原点を中心に  $\frac{\pi}{3}$  だけ回転させて得られる点

(2) 点  $\begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix}$  を  $x$  軸に関する鏡映で移して得られる点

問題 1.3. 放物線  $C : y = x^2$  に対し, 以下の問に答えよ.

(1) 放物線  $C$  を  $\begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$  だけ平行移動した曲線  $C'$  の方程式を求めよ.

(2) 座標  $\begin{bmatrix} X \\ Y \end{bmatrix}$  の座標軸が元の座標  $\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$  の座標軸を  $\begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$  だけ平行移動したものであるとする. 放物線  $C$  の方程式を,  $X, Y$  を用いて書け.

問題 1.4. 点  $\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$  を, 点  $\begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$  を中心に  $\pi/3$  だけ回転させて得られる点の座標 (直交座標) を求めよ.

ヒント: 点  $\begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$  を原点とする座標へ平行移動し, 回転を施したうえで, (逆向き)の平行移動で元の座標に戻る.

問題 1.5.  $v_1 = \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix}, v_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ -3 \end{bmatrix}$  とする. 以下のベクトルを,  $av_1 + bv_2$  の形で書け.

$$(1) \mathbf{p} = \begin{bmatrix} 5 \\ -1 \end{bmatrix} \quad (2) \mathbf{q} = \begin{bmatrix} 4 \\ 7 \end{bmatrix} \quad (3) \mathbf{r} = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$$

(裏面に続く)

**問題 1.6.** 直線  $ax + by + c = 0$  に原点  $O$  からおろした垂線の足を  $P$  とする.

(1)  $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$  は, この直線の法線ベクトルである. このとき,

$$\overrightarrow{OP} = -\frac{c}{|\mathbf{n}|^2} \mathbf{n}$$

であることを示せ.

(2) 上の結果を用いて, 直線と原点との距離が

$$\frac{|c|}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

で与えられることを示せ.

## 線形代数 IA (2024 年度) 演習問題 1 (解答例)

注意 以下はあくまでひとつの解答例である。誤植も含め、解答に誤りが存在するかもしれないので、鵜呑みにせず各自で検証すること。

問題 1.1. いずれも  $n$  を整数として、以下の通り。

$$(1) (r, \theta) = (\sqrt{2}, \pi/4 + 2\pi n)$$

$$(2) (r, \theta) = (2, -\pi/6 + 2\pi n)$$

問題 1.2. (1)  $\begin{bmatrix} 1 \\ \sqrt{3} \end{bmatrix}$  (2)  $\begin{bmatrix} 3 \\ -1 \end{bmatrix}$

問題 1.3.

(1) 平行移動で点  $\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$  は、点  $\begin{bmatrix} x' \\ y' \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} x + a \\ y + b \end{bmatrix}$  に移る。放物線  $C$  上の点  $\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$

は、方程式  $y = x^2$  を満たすから、 $y' - b = (x' - a)^2$  が成り立つ。よって、 $C'$  の方程式は ( $x', y'$  を改めて  $x, y$  と書いて)  $y - b = (x - a)^2$  である。放物線  $C, C'$  の図を描けば理解できるだろう。

(2) 座標変換は、

$$X = x - a, \quad Y = y - b$$

で与えられるから、放物線  $C$  の方程式は、 $Y + b = (X + a)^2$  と書き換えられる。

問題 1.4. 点  $\begin{bmatrix} a \\ b \end{bmatrix}$  を原点とする座標へ平行移動し、回転を施したうえで、(逆向き)の平行移動で元の座標に戻ればよい。結果は、平面上の任意の点  $\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$  に対し、

$$\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \mapsto \begin{bmatrix} X \\ Y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} x - a \\ y - b \end{bmatrix} \quad (\text{座標変換})$$

$$\mapsto \begin{bmatrix} \frac{1}{2}(x - a) - \frac{\sqrt{3}}{2}(y - b) \\ \frac{\sqrt{3}}{2}(x - a) + \frac{1}{2}(y - b) \end{bmatrix} \quad (\pi/3 \text{ 回転})$$

$$\mapsto \begin{bmatrix} \frac{1}{2}(x - a) - \frac{\sqrt{3}}{2}(y - b) + a \\ \frac{\sqrt{3}}{2}(x - a) + \frac{1}{2}(y - b) + b \end{bmatrix} \quad (\text{座標変換})$$

である。

問題 1.5.

$$(1) \mathbf{p} = 2\mathbf{v}_1 + \mathbf{v}_2 \quad (2) \mathbf{q} = \frac{19}{7}\mathbf{v}_1 - \frac{10}{7}\mathbf{v}_2 \quad (3) \mathbf{r} = \frac{3x+y}{7}\mathbf{v}_1 + \frac{x-2y}{7}\mathbf{v}_2$$

なお,  $a\mathbf{v}_1 + b\mathbf{v}_2$  の形のものを, 「 $\mathbf{v}_1$  と  $\mathbf{v}_2$  の線形結合」という.

問題 1.6.

(1)  $\overrightarrow{OP}$  と  $\mathbf{n}$  とは平行であるから, 適当な実数  $k$  を用いて,  $\overrightarrow{OP} = k\mathbf{n}$  と表せる. これを直線の方程式  $\mathbf{n} \cdot \overrightarrow{OP} + c = 0$  へ代入すれば,  $k = -\frac{c}{|\mathbf{n}|^2}$  を得る.

(2)  $|\overrightarrow{OP}|$  を求めればよい.  $|\overrightarrow{OP}| = |k||\mathbf{n}| = \frac{|c|}{|\mathbf{n}|} = \frac{|c|}{\sqrt{a^2 + b^2}}$  である.